

1. 新規採用医薬品として採用(2024年2月14日から処方可能)

- ◆炭酸リチウム錠100mg「大正」(大正製薬) 躁病・躁状態治療剤
- ◆シプロフロキサシン点滴静注液400mg「ニプロ」(ニプロ) ニューキノロン系注射用抗菌剤
- ◆ノボラピッド注フレックスペン(ノボノルディスクファーマ) 超速効型インスリンアナログ注射液
- ◆ファモチジン注射液20mg「トーワ」(東和薬品) H₂受容体拮抗剤
- ◆フェスゴ配合皮下注MA(中外製薬) 抗悪性腫瘍剤
- ◆レナリドミドカプセル5mg「BMSH」(ブリストル・マイヤーズスクイブ) 抗造血器悪性腫瘍剤
- ◆レバミピド懸濁性点眼液2%「参天」(参天製薬) ドライアイ治療剤(ムチン産生促進剤)

2. 新規採用医薬品として採用(採用時期未定)

- ◆タクロリムス錠0.5mg「トーワ」・1mg「トーワ」(東和薬品) 免疫抑制剤

3. 要時発注医薬品として採用(2024年2月14日から処方可能)

- ◆デュピクセント皮下注200mgシリンジ(サノフィ) ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体
- ◆フェスゴ配合皮下注IN(中外製薬) 抗悪性腫瘍剤
- レケンビ点滴静注200mg・500mg(エーザイ) ヒト化抗ヒト可溶性アミロイドβ凝集体モノクローナル抗体

4. 院外専用医薬品として採用(2024年2月14日から処方可能)

- ◆ユリス錠2mg(持田製薬) 選択的尿酸再吸収阻害薬

5. 要時発注医薬品から正式採用への移行(2024年2月14日から移行)

- ◆ラスリテック点滴静注用1.5mg(サノフィ)

6. 正式採用から要時発注医薬品への移行(2024年2月14日から移行)

- ◆MSコンチン30mg(塩野義製薬)
- ◆アブストラル舌下錠100μg(協和キリン)
- ◆イミフィンジ点滴静注120mg(アストラゼネカ)
- ◆テレミンソフト坐薬10mg(EAファーマ)
- ◆ナルサス錠24mg(第一三共)
- ◆ナルラピド錠4mg(第一三共)
- ◆リザベン点眼液0.5%(キッセイ薬品工業)

7. 正式採用から院外専用医薬品へ移行(2024年2月14日から移行)

- ◆ムコスタ点液UD2%(大塚製薬)

8. 正式採用から院外専用医薬品へ移行(移行時期未定)

- ◆プログラフカプセル0.5mg・1mg(アステラス製薬)

9. 正式採用から手術室専用薬へ移行(2024年2月14日から移行)

- ◇ポプスカイン0.5%注50mg/10mL(丸石製薬)

10. 採用中止(2024年2月13日まで処方可能)

- ◆炭酸リチウム錠100「ヨシトミ」(田辺三菱製薬)
- ◆サラゾスルファピリジン錠500mg「日医工」(日医工)
- ◆シプロフロキサシン点滴静注400mg/200mL「明治」(MeijiSeika ファルマ)
- ◆ゾニサミド散20%「アメル」(共和薬品工業)

11. 採用中止(2024年4月30日まで処方可能)

- ◆ファモチジン静注液20mg「日医工」(日医工)

12. オーダマスタの一旦停止

- ◆ラスリテック点滴静注用7.5mg(サノフィ)：2023年12月8日から一旦停止
- ◆セフォチアム塩酸塩静注用1g「NP」(ニプロ)：2023年12月21日から一旦停止
- ◆ノボラピッド注フレックスタッチ(ノボノルディスクファーマ)：2024年2月14日から一旦停止

13. 特定患者使用薬剤申請書が必要になる薬剤(2024年4月1日から必要)

- ◆レブラミドカプセル5mg(ブリストル・マイヤーズスクイブ)
再発又は難治性の成人T細胞白血病リンパ腫、再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫の専用薬

14. 特定患者使用薬剤申請書が不要になる薬剤(2024年2月14日から不要)

- ◆テブミトコ錠250mg(メルクバイオファーマ)
- ◆ベスポンサ点滴静注用1mg(ファイザー)

■：全例調査対象薬

◇：オーダー対象外

以上